

短期マスター

日本語能力試験ドリル

N2

第2版

凡人社編集部 編



目 次

この本で勉強する人へ	ii
------------------	----

練習問題

文字・語彙	1
文法	11
読解	17
聴解	39

まとめのテスト

文字・語彙	52
文法	58
読解	62
聴解	75

この本で勉強する人へ

◆この本の特徴

この『短期マスター 日本語能力試験ドリル N2』は、日本語能力試験で出題される試験科目（文字、語彙、文法、読解、聴解）をすべて1冊で勉強できる問題集です。短い日数ですべての科目を勉強できるのが特徴です。問題の形式は日本語能力試験と同じ形式になっています。

◆この本の構成

・練習問題

試験科目に合わせて「文字・語彙」「文法」「読解」「聴解」に分かれています。

・まとめのテスト

試験の約半分の問題数でできています。

試験科目	問題のタイプ	試験の問題数（大問）	「まとめのテスト」の問題数（大問）
文字・語彙	漢字読み	5	3
	表記	5	3
	語形成	5	3
	文脈規定	7	4
	言い換え類義	5	3
	用法	5	3
文法	文の文法 1	12	6
	文の文法 2	5	3
	文章の文法	1	1
読解	内容理解（短文）	5	3
	内容理解（中文）	3	2
	統合理解	1	1
	主張理解（長文）	1	1
	情報検索	1	1
聴解	課題理解	5	3
	ポイント理解	6	3
	概要理解	5	3
	即時応答	12	6
	統合理解	3	2

・ CD

練習問題・まとめのテストの、聴解問題の音声が入っています。実際の試験と同じように、問題を読むための時間や書くための時間があります。

・ 別冊

練習問題・まとめのテストの、解答と聴解問題のスク립トです。

◆この本の使い方

使う時期によって、次のような使い方をお勧めします。

・ 試験対策の最初に

日本語能力試験の勉強を始めようと思ったとき、まずこの本の「練習問題」を解きましょう。それから、「まとめのテスト」(p.51～)を解きます。「練習問題」のそれぞれのページの上には問題のタイプ(大問の分類)が書いてあります。答え合わせをするときに、得意なタイプ、苦手なタイプを見つけましょう。苦手な科目、苦手なタイプの問題は、ほかの問題集なども使って重点的に勉強しましょう。間違った問題はチェックしておく、試験直前の勉強の役に立ちます。

・ 試験対策の最後に

それぞれの試験科目の問題集で日本語能力試験の勉強をしたあと、仕上げとしてこの本を使うこともできます。「まとめのテスト」は試験時間の半分の時間を目安にして、解いてみましょう。

・ もう時間がない! という時に

まず初めに、「まとめのテスト」を解きます。それから、間違いが多かった試験科目の「練習問題」を、何度も繰り返し解きましょう。わからないところは先生に聞いたり、参考書で調べたりしましょう。

※ この本に掲載した日本語能力試験の試験科目、問題数、試験時間の分数、表記の基準については「新しい「日本語能力試験」ガイドブック概要版と問題例集 N1, N2, N3 編」(国際交流基金・日本国際教育支援協会編著 2009年発行)を参考にしています。

練習問題

も じ ご い
文字・語彙

問題 2

_____の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① いろいろなことにかんしんを持って調べる。

- 1 歆心 2 関心 3 間心 4 感心

② 練習を休んでいる間に、感覚がにぶった。

- 1 遅った 2 濁った 3 鈍った 4 怠った

③ ほしゅうの内容を確認する。

- 1 暮集 2 募集 3 墓収 4 募収

④ 経験をかさねて、りっぱになる。

- 1 重ねて 2 積ねて 3 詰ねて 4 兼ねて

⑤ これからはこくない国内だけでなく、こくさい競争にも勝てなくてはいけない。

- 1 国済 2 国察 3 国擦 4 国際

⑥ その報告を聞いたとたんに、彼はけわしい表情になった。

- 1 怖しい 2 検しい 3 硬しい 4 険しい

⑦ 去年、子どもがどくりつして、親としてはうれしくも悲しくも感じられる。

- 1 得律 2 得立 3 独立 4 独律

問題3

()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

- ① 彼は飲み()が早いから、教えたことは何でもすぐにできるだろう。

1 かた 2 くだし 3 わかり 4 こみ

- ② 秘密ひみつだと言われていたのに、ついうっかり口()しまった。

1 すべって 2 ばしって 3 だして 4 ごもって

- ③ 思い()ことが起こって、びっくりしている。

1 がけない 2 こまない 3 こむ 4 出さない

- ④ まだ始まったばかりなのだから、がんばりすぎでは長()しないよ。

1 持続じぞく 2 続き 3 持ち 4 続々

- ⑤ 遊び()で始めたのに、いつの間にか真剣しんけんになっていた。

1 すこし 2 つもり 3 ちょっと 4 はんぶん

- ⑥ 息子が、仲間()になったと泣いて帰ってきた。

1 そと 2 はじき 3 はずれ 4 はぐれ

- ⑦ 彼女は、彼の()神経な一言にひどく傷付きずついていた。

1 不 2 非 3 無 4 否

問題 4

() に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 経済が () して、国民の生活が豊かになった。

- 1 展開 てんかい 2 発展 はってん 3 開発 かいはつ 4 進歩 しんぽ

② すてきな服だけれど、私の () ではない。

- 1 好み この 2 興味 きょうみ 3 関心 かんしん 4 似合い にあい

③ けんかをしていた二人に話を聞くと、() どちらが悪いとはいえない。

- 1 なんとか 2 一方 いっほう 3 なるべく 4 一概に いちがい

④ 演奏が終わると、会場から () が起こった。

- 1 応援 おうえん 2 感心 かんしん 3 握手 あくしゅ 4 拍手 はくしゅ

⑤ () 決めたら、最後までやります。

- 1 いったん 2 万一 3 もしかすると 4 どうか

⑥ 最近、食べすぎて太ったので、スカートが () 。

- 1 鈍い にぶ 2 ずるい 3 緩い ゆる 4 きつい

⑦ 後藤さんは絵の才能に () 女性です。

- 1 合った あ 2 恵まれた めぐ 3 応じた おう 4 満たされた み

⑧ 弱点を () するために一生懸命努力した。

- 1 改正 かいせい 2 回復 かいふく 3 克服 こくふく 4 修理 しゅうり

⑨ 今日の試合は私たちのチームに () だ。

- 1 便利 2 有効 3 得意 4 有利

10 台風のためバスが（ ）になった。

1 運休 うんきゅう

2 停止 ていし

3 延期 えんき

4 休止 きゅうし

問題 5

_____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 調査はほとんど終わりましたが、もう少し調べたいことがあります。

- 1 ほぼ 2 かなり 3 とても 4 たくさん

② 再三お願いして、やっと仕事を引き受けてもらった。

- 1 いつも 2 何度か 3 いつか 4 何度も

③ その服、あなたに似合っていますね。

- 1 そっくりです 2 はっきりです 3 きっちりです 4 ぴったりです

④ 外国を旅行中、高校のときの友達に会って、びっくりした。

- 1 気に入った 2 おしゃべりした
3 ^{おどろ}驚いた 4 ^と溶け込んだ

⑤ 目が悪いので、字がダブって見える。

- 1 ^{かさ}重なって 2 ^{ふく}膨らんで 3 ^{なが}流れて 4 ^の伸びて

⑥ なだらかな坂を上ると、小学校がある。

- 1 ゆるやかな 2 ^{おだ}穏やかな 3 ^{はが}朗らかな 4 ^{すこ}健やかな

⑦ このような結果になり、誠に申し訳ありませんでした。

- 1 しきりに 2 さらに 3 本当に 4 要するに

問題 6

次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① ずらす

- 1 仕事が終わらなかったので、出張の予定を1日ずらした。
- 2 窓の近くに重い机をずらしながら、置いた。
- 3 友達が見えなくなるまで、手をずらした。
- 4 窓をずらすと、富士山^{ふじさん}が見えた。

② もうかる

- 1 準備が終わるまであと30分時間がもうかります。
- 2 私たち夫婦に3人の子どもがもうかりました。
- 3 ^{いっしょうけんめい}一生懸命働いて、もうかりなさい。
- 4 商品を安く買って、高く売れば、もうかります。

③ いちいち

- 1 いちいち教えてくださって、ありがとうございます。
- 2 私が決めたことにいちいち^{もんく}文句を言わないでください。
- 3 美術館に行って、絵をいちいち見てきた。
- 4 あなたの意見をいちいち説明してください。

④ ノック

- 1 部屋に入るときは、ノックをしてから入ってください。
- 2 ノックを回して、部屋に入る。
- 3 部屋に大きなノックがかかっています。
- 4 ノックな音が部屋から聞こえてきます。

5 手頃^{てごろ}

- 1 手頃がかかるので、あまりしたくありません。
- 2 どんな手頃な方法で、料理を作りますか。
- 3 大きさも値段も手頃な商品なので、よく売れる。
- 4 17時からだと、ちょうど時間が手頃です。

6 ざっと

- 1 昨日からざっと連絡を待っている。
- 2 昨日は、強い風がざっと吹いていた。
- 3 机の上がざっとしている。
- 4 試験前に教科書をざっと復習した。

7 心当たり

- 1 林さんは心当たりがいい人です。
- 2 犯人に心当たりがありますか。
- 3 今日は天気がよくて、心当たりだ。
- 4 少し休めば心当たりがよくなります。

練習問題

ぶんぽう
文法

問題 1

次の文の（ ）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① この料理は、子どもに（ ）は苦すぎる。

- 1 おいて 2 かけて 3 ついて 4 とって

② 登山には、いつもこの靴をはいて行く。疲れる（ ）なく、山道を歩くことができるからだ。

- 1 わけ 2 こと 3 もの 4 ほど

③ レポートを手伝う（ ）、夕飯をごちそうしてもらいました。

- 1 あまりに 2 ほどに 3 かわりに 4 ところに

④ それは、いくつもある問題点の一つに（ ）。全体的な問題の解決を考えなくてはならない。

- 1 のほろ 2 すぎない 3 かぎる 4 およばない

⑤ この喫茶店は、コーヒーの味（ ）雰囲気ふんい きはいいです。

- 1 はともかく 2 につけても 3 にかけても 4 のくせに

⑥ 試合の相手は去年の優勝チームだが、緊張きんちやうする（ ）。実力を出せば、勝てるはずだ。

- 1 つもりだ 2 ことはない 3 べきだ 4 ものはない

⑦ 今度引っ越したアパートは駅から遠い（ ）、近所に店が多くて便利だ。

- 1 だけなら 2 わりに 3 ために 4 からは

⑧ 図書館に行く（ ）、スーパーで買い物をしてきませんか。

- 1 うちに 2 とともに 3 ついでに 4 うえに

9 大学生になったんだから、新聞ぐらい読む（ ）。世の中の動きを知っておいたほうがいい。

- 1 まです 2 べきだ 3 くらいだ 4 ところだ

10 今、働いている会社は給料がいい（ ）、残業^{ざんぎょう}も多いし、営業成績が悪いと、すぐボーナスに^{えいきょう}影響する。

- 1 反面^{はんめん} 2 あげく 3 うえに 4 ばかりか

11 山を下りる（ ）、気温が高くなってきた。

- 1 に比べて 2 について 3 によって 4 につれて

12 発表会に向けて長期間練習した（ ）、いい発表ができたと思う。

- 1 最中に 2 わりに 3 だけに 4 ことに

13 部屋は狭いし料理はまずいし、あんな旅館には、もう二度と泊まる（ ）。

- 1 しかない 2 ところよ 3 ことだ 4 ものか

14 もしも1億円が当たった（ ）、どうしますか。

- 1 といっでは 2 にしても 3 としたら 4 につけても

15 家の前の道が工事中なので、（ ）。

- 1 騒^{さわ}がしくてしょうがない 2 騒^{さわ}がしいことではない
3 騒^{さわ}がしくてはいられない 4 騒^{さわ}がしいものはない

16 来年の正月は温泉にでも行って、久しぶりに家族4人で（ ）。

- 1 過ごしたいことか 2 過ごそうじゃないか
3 過ごすわけじゃない 4 過ごすほどのものか

17 値段^{ねだん}が（ ）質が悪くなるのは、しかたがありません。

- 1 下がれば下がるほど 2 下がらなければ
3 下がるにもかかわらず 4 下がらないからといって

18 友達が遠くの町に引っ越すことになってしまい、()。

1 寂^{さび}くてはならない

2 寂^{さび}くてはいけない

3 寂^{さび}くてならない

4 寂^{さび}くてかまわない

問題2

次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 何でも _____ ★ _____、新しい機械も、すぐ使えるようになるだろう。

- 1 ことだから 2 やってしまう 3 小林さんの 4 器用に

② 息子が作ったカレーを初めて食べたときには、あまりにも _____ ★ _____ が、最近では息子も慣れたもので、^{ほどよい}程良い辛さに作ってくれる。

- 1 水を 2 いられなかった 3 辛くて 4 飲まずには

③ 一人暮らしを始めてすぐのころは、^{さび}寂しくて家に _____ ★ _____ ばかりいた。

- 1 ものなら 2 帰れる 3 思って 4 帰りたいと

④ 姉のステレオのスピーカーは高価で、オーケストラが _____ ★ _____ 聞こえる。

- 1 ^{えんそう}演奏して 2 ^{め まえ}目の前で 3 かのよう 4 いる

⑤ 改めて _____ ★ _____、何か不明な点などございましたら、ご連絡ください。

- 1 ので 2 資料を 3 いただきます 4 送らせて

⑥ 試合の途中で雨が降ってきたため、今は _____ ★ _____ 再び試合が始まる予定だ。

- 1 雨が 2 中断されているが
3 試合が 4 やみ次第

⑦ ふだんはほとんど家で食事をするが、 _____ ★ _____ もちろん食べに行く。

- 1 ^{きそ}誘われれば 2 わけではなくて 3 ^{きら}嫌いだという 4 外で食べるのが

問題 3

次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、① から ⑤ の中に入る最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

私が 10 代の頃、女の子は好きな男の子に、手編みのセーター、もしくは手作りのクッキーをプレゼントするものだった。少なくともその頃の私は、そう思っていた。

①、クッキーを作った。15 歳のとき。それを渡したときの相手の反応は「うひゃあ」だった。嬉しい悲鳴ではない。とうとうくるべきものがきちゃったよ、という「うひゃあ」。私は彼を好きだったが、彼は私をさほど好きではなかった ②。

べつにそれがトラウマになったわけでもないのだが、大人になってからは、そういうことは一切していない。愛は、べつにクッキーやセーターを手作りしなくてもあらわされると知っている。小説の登場人物に「手作りのお弁当とか、手編みのマフラーとかをありがたがる男は、小者」と言わせたりしている。

それはともかくとして、私の父は手作りを強く求める男だった。

父を喜ばすために、母はまあよく手作りした ③。クッキーやケーキ ④、そば、うどん、餃子の皮、豆腐、キムチ。おまんじゅうや軽羹やきんつば。その手腕が知れ渡ると、(というのはつまり、父が吹聴してまわるからなのだが)、「蒟蒻芋」などをわざわざ送ってくださる人なども出てきて、インターネットなどまだなかった当時、どのような手段 ⑤ レシピを探し出してきて、蒟蒻まで作っていた。

(井上荒野『作家の口福』2009 年 9 月 26 日付け朝日新聞 be on Saturday による)

① 1 ただし 2 それで 3 なぜなら 4 ところが

② 1 ばかりではないだろう 2 というほどだろう
3 わけではないだろう 4 ということだろう

③ 1 ほうだ 2 つもりだ 3 ものだ 4 ところだ

④ 1 はもとより 2 にほかならない 3 に応じて 4 に限って

⑤ 1 とも 2 では 3 でか 4 にも

練習問題

どっかい
読解

問題 1

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

モチ売り場の人達が「はい、つきたてのおモチだよー。すごくおいしいよー」と叫んでいる。客がどんどん寄ってきて、モチは次々飛ぶように売れていた。

こんな所でボンヤリしている場合じゃない。早くしないとモチが全部売り切れてしまう。私は焦った。モチ売り場の人はあるなにモチが売れているのにまだ「おいしいモチだよー」と叫んで客を呼び込んでいる。頼むからもうそれ以上①モチがうまいと叫ばないでほしい。黙っててもそのモチは売れるから、私が行くまで叫ばずに待っててくれ。

（さくらももこ『さくら日和』集英社刊による）

① ①モチがうまいと叫ばないでほしいのはなぜか。

- 1 モチ売り場の人がおおごえで叫んでいるのは、うるさくて我慢できないから。
- 2 ボンヤリしていたいの、うるさくて迷惑だから。
- 3 客がどんどん寄ってきているのに、何度も叫ぶのはしつこいから。
- 4 客が集まって売り切れになってしまったら、自分が食べられないから。

問題 2

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

20XX 年 10 月 20 日

いずみ株式会社

営業部 御中

いろは株式会社

営業部 内田

前略 (注1)

平素 (注2) からお世話になり、誠に (注3) ありがとうございます。

当社製品につきましては、商品発売時の価格のまま、今日まで低価格で販売してまいりました。しかし、数年前から続く原料・材料の大幅な値上がりにもない、製品 ABC は交換部品の値上げをせざるをえない状況になりました。

つきましては、11 月 1 日をもって、販売価格を現行の 1 ダース 84,000 円より 2,400 円値上げさせていただきたく、お願い申し上げます。

(注1) 前略：手紙の最初に書く季節のあいさつを省略すること

(注2) 平素：ふだん

(注3) 誠に：本当に

① この文章を書いた人が一番伝えたいことは何か。

- 1 この会社は、製品の販売価格の値上げをする。
- 2 この会社は、商品発売時から、一度も値上げをしなかった。
- 3 この会社は、値上げするしか方法がない経営状態である。
- 4 この会社は、ほかの会社より低価格で商品を提供している。

問題 3

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

これまで会った先生や家族や、先輩、友人のなかに、あの人に対して恥ずかしいことはできない、と思う人があはらずです。

小さいことであれ、自分がウソをつきそうになる時、ほんの短い間でいい、口をつぐんだ^(注1) ままです。そして、あの人がいま自分を見つめているとして、このウソをついていいか、と考えることです。

私の場合、①そういう人たちとして、大学でフランス文学を教わった先生や、優れた音楽家だった友人や、またこの人は外国人ですが、白血病^(注2)と闘いながら文学や世界の問題に確実な考え方を示している学者の友人があります。

(大江健三郎『「新しい人」の方へ』朝日新聞社刊による)

(注1) 口をつぐむ：口を閉じる、黙る

(注2) 白血病^{はっけつびょう}：血液の病気

1 ①そういう人たちとはどんな人たちか。

- 1 その人の前では自分が恥ずかしいことはできないと思う人たち
- 2 ウソをつきそうな自分を見つめている人たち
- 3 ウソをついてもいいと思う人たち
- 4 世の中に認められた大学教授や学者たち

問題 4

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

夫の帰国^(注1) 後も私はしばらく日本にとどまることにした。というのも、数か月後に生け花の師範^(注2) 試験を日本で受けることになっていたからである。国には試験を受けられる会場がなく、また、一度帰国^(注1) すると再度の来日が難しいため、しかたがなかった。

夫が一人で帰国^(注1) するということは二人で十分話し合って決めたことで、夫婦の間では何の問題もなかった。ところが、国で帰国^(注1) を待っている家族や友人たちにはこうした事情を知らせていなかったため、大きな騒ぎになっていた。

(注1) 帰国^(注1)：国へ帰ること

(注2) 師範^(注2)：ここでは、生け花を教える資格のこと

❶ この文章の内容と合っているのはどれか。

- 1 家族や友人たちの事情のために、筆者は日本にとどまることにした。
- 2 家族や友人たちは、筆者が生け花の師範^(注2) 試験を受けることが問題だと思っていた。
- 3 筆者は、一人日本に残って生け花の師範^(注2) 試験を受けることにした。
- 4 筆者と夫は、筆者が国で生け花の師範^(注2) 試験を受けることについて話し合った。

問題 5

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

「心とはどんなものですか？」と問われたとき、すぐに答えられるでしょうか？

①わかっているけれどもうまく言えない、というのが多くのみなさんの^{はしのう}反応でしょう。

その理由の一つは、心がそのはたらきにおいて、わたしたちの^{にんしき}認識や行動とあまりにも多様な^{たよう}なかかわりをもっているため、限定的^{げんてい}にとらえにくいからだ、と考えられます。たとえば、エンピツは「字を書く道具」という^{げんてい}限定された役割をもっているのに対し、心は「字を読み、書き、理解し、さらにことばで他人とコミュニケーションする」という広い^{ちてき}知的な役割を^{にな}担っています。ですから、エンピツのはたらきについての^{ていぎ}定義は簡単ですが、心のはたらきについての^{ていぎ}定義は、その多様な^{たよう}さゆえに一言でうまく表現しえないのです。

（荻阪直行『心と脳の科学』岩波書店刊による）

① どうして①わかっているけれどもうまく言えないのか。

- 1 エンピツはコミュニケーションの道具ではないから。
- 2 心の働きは、人間の行動と直接の関係がないから。
- 3 心の働きは多様な^{たよう}ため、一言で答えられないから。
- 4 心の役割は、とても^{げんてい}限定されているから。

問題 6

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

お ^{だれ} 誰にでも ^{おとず} 訪れる。肌は生 ^{せい} 気 ^き (注1) を失ってくるし、しわは出てくるし白髪は多くなるしで、男 ^{だんじょ} 女 ^{じょ} を問 ^と わず ^{めい} この ^{しゅくめい} 宿 ^{しゅ} 命 ^{めい} (注2) から自由でいられる人間はいない。四十を越えれば、肉 ^{にく} 体 ^{たい} 的 ^{てき} なら ^ば 眼 ^{がん} 前 ^{ぜん} には ^{くだ} 下 ^さ り ^{さか} 坂 ^{さか} があるのみだ。「お年にしては若い」と言われても、所 ^{しよ} 詮 ^{せん} (注3)、「お年にしては」なのである。それでも、美 ^{ちゆう} しい ^{こうねん} 中 ^{だんじょ} 高 ^{じょ} 年 ^{ねん} の男 ^{おとこ} 女 ^{めい} はいなくはない。肉 ^{にく} 体 ^{たい} 的 ^{てき} には ^び 美 ^{なん} 男 ^び 女 ^{じょ} とは必ずしも ^{ひやう} 評 ^{せう} せる (注4) 人 ^{ひと} び ^と とで ^{ない} ない ^{のだが} のだが、与 ^よ える ^{えん} 印 ^{いん} 象 ^{さう} が美 ^{うつく} しい ^{しい} のだ。なぜだろうと考 ^{かん} えた ^あ げ ^く に、次 ^{つぎ} の ^{よう} よう ^な 結 ^{けつ} 論 ^{ろん} に達 ^{たっ} した ^{した}。

① 彼、彼女たちは、すべてに氣を抜いていないのである。とくに服装に、特別におしゃれというわけではないのだが、氣をつけている。

(塩野七生『再び男たちへ』文藝春秋刊による)

(注1) 生 ^{せい} 気 ^き : 生 ^{いき} き ^{いき} 生 ^{いき} き ^{いき} とした感 ^{かん} じ

(注2) 宿 ^{しゅく} 命 ^{めい} : 生 ^う まれる ^ま 前 ^{まへ} から決 ^{けつ} め ^め られて ^{いて} いて、変 ^へ え ^え られ ^{ない} ない ^{こと} こと

(注3) 所 ^{しよ} 詮 ^{せん} : 結 ^{けつ} 局 ^{りょく}

(注4) 評 ^{ひやう} する : その ^{もの} の ^{もの} の ^{もの} 価 ^か 値 ^ち など ^{につ} いて ^{いう} いう

① ① 彼、彼女たち とは ^{だれ} 誰 ^か か。

1 「お年にしては若い」と言われる人

2 美 ^{ちゆう} しい ^{こうねん} 印 ^{いん} 象 ^{さう} を与 ^よ える ^{えん} 中 ^{じょ} 高 ^{ねん} 年 ^{ねん} の人

3 肉 ^{にく} 体 ^{たい} 的 ^{てき} に ^び 美 ^{なん} 男 ^び 女 ^{じょ} とは言 ^い われ ^{ない} ない ^人 人

4 肉 ^{にく} 体 ^{たい} 的 ^{てき} に ^び 美 ^{なん} 男 ^び 女 ^{じょ} とは言 ^い われ ^る る ^人 人

問題 7

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

庭に五本の桜さくらの木がある。

植木や庭の好きな人がこれを見ると、必ず伐きってしまえと言う。私は、はじめはそれが不思議でなかった。なんだか無残むざんな(注1)ことを言われたように思った。その人も冷酷れいこく(注2)無残むざんなのではないかと思われた。本当に植木が好きなのかどうか疑うたがわしいように思った。しかし、庭づくりの好きな人は、誰だれもが、そう言うのである。①その意味が、だんだんにわかってきた。

一本の大木があると、その下の樹木じゅもくは生育せいいく(注3)しない。私も植木屋から少しずつ買ってきて、花の咲くのを楽しみにしていたが、まるで駄目だめなのである。買ってきた年はいいのだけれど、翌年からずっと咲かなくなる。

(山口瞳『男性自身 困った人たち』新潮社刊による)

(注1) 無残むざん：ひどいこと、かわいそうなこと

(注2) 冷酷れいこく：優しさがなく、冷たいこと

(注3) 生育せいいく：生まれ育つこと

1 ①その意味とは何か。

- なぜ桜さくらの木を伐きってしまえと言うのか。
- なぜ植木が好きかどうかを疑ったのか。
- なぜ大木の下じゅもくの樹木せいいくは生育しないのか。
- なぜ植木が好きな人は冷酷れいこくなのか。

問題 8

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

男はある夜、道ばたでひとつの鍵^{かぎ}を拾った。人通りのたえた静かな路上^{ろじょう}。薄暗い街^{がい}灯^{とう} (注1) の光を受けて、それはかすかに輝^{かがや}いていた。

男は手にとり、ただの鍵^{かぎ}と知って、ちょっとがっかりした。こんなものなら靴の先でけとばし、通りすぎてしまってもよかったのだ。しかし、拾ってしまうと捨てるのもめんどくさく、それをポケットに入れた。したがって、①わざわざ交番へとどける気にならなかったのは、いうまでもない。

数日たって、男はポケットに入れた指先^{ゆびさき}で鍵^{かぎ}のことを思い出した。退屈^{たいくつ}まぎれに手のひらにのせ、あらためて眺^{なが}めた。

明るいところで見ると、どこことなく異様^{いよう}な印象を受ける。ありふれた鍵^{かぎ}とは、形が大いにちがっていた。(中略)

どこか金持ちの邸^{やしき}の鍵^{かぎ}かもしれない。こう男は想像した。市販^{しはん}している普通の鍵^{かぎ}を持ちたがらない人だってあるだろう。そんな人が金にあかせて (注2) 特別に作らせた鍵^{かぎ}ではないかと考えたのだ。

これを使えば、留守宅^{しゆ}に忍びこんで、金目^{かねめ} (注3) のものを持ち出すことができるかもしれない。最初は軽い気持ちで思いついたにすぎなかったが、しだいに形をとってきた。侵入^{しんにゅう}した時に見とがめ^み (注4) られたとしても、拾った鍵^{かぎ}をおとどけに来たのだと言えば、いちおうの言い訳^{いわけ}にはなる。鍵^{かぎ}の落とし主^{おしぬし}をたしかめるためには、それであけてみる以外にないのだから。

②うまくいけば収穫^{しゅうかく}は大きく、失敗しても危険は少ない。男は③その計画を実行に移しはじめた。鍵^{かぎ}を拾ったあたりの家々^{きんせん}を手はじめ^て (注5) に、いくつもの立派な邸宅^{りっぱ ていたく}の玄関^{げんかん}に近より、ひそかに試みた。

(星新一著「鍵」[新潮文庫刊『妄想銀行』所収] ※一部中略あり)

(注1) 街灯^{がいとう}：道路を明るくするために取り付けられた電灯

(注2) ～にあかせて：たくさん余っているものを十分に使って

(注3) 金目^{かねめ}：高価^{きんせん}、金銭的価値が高いこと

(注4) 見とがめる：見て、不審^{ふしん}に思って相手に声をかける

(注 5) 手は^てはじめ：物事を始めるいちばん最初

1 ① わざわざ交番へとどける気にならなかったのはなぜか。

- 1 ただの^{かぎ}鍵など、とどけるのもめんどろだったから。
- 2 この^{かぎ}鍵は、あとで使えると思ったから。
- 3 とても変わった形をした^{かぎ}鍵だったから。
- 4 とても高価なものを拾ったと思ったから。

2 ② うまくいけば^{しゅうかく}収獲は大きく、失敗しても危険は少ないとはどういうことか。

- 1 うまくいけば留守の家に^し入れるし、入れなくても何ということはない。
- 2 うまくいけば^{かぎ}鍵の^お落とし^{ぬし}主^{かぎ}に^{かぎ}鍵を返せるし、間違えても^い言い^{わけ}訳ができる。
- 3 うまくいけば高いものが盗めるし、見つかっても犯罪になる可能性が少ない。
- 4 うまくいけば^{かぎ}鍵をとどけることができるし、見つかっても^{つか}捕まる可能性が少ない。

3 ③ その計画を実行に移しはじめたとは、どんなことをしたのか。

- 1 ^{かぎ}鍵をとどけるため、^{かぎ}鍵を拾ったあたりの家のドアに^{かぎ}鍵を差し込んでみた。
- 2 泥棒をするため、^{かぎ}鍵を拾ったあたりの家のドアすべてに^{かぎ}鍵を差し込んでみた。
- 3 ^{かぎ}鍵の^お落とし^{ぬし}主を探するため、^{かぎ}鍵を拾ったあたりの家のドアに^{かぎ}鍵を差し込んでみた。
- 4 泥棒をするため、お金がありそうな家のドアに^{かぎ}鍵を差し込んでみた。

問題 9

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

私は子供の頃から地図が好きだった。机のシートの下に日本地図を敷いて、いつも見ていたので、7歳で全国の都道府県の位置と形を暗記していた。「何もない無人島^(注1)へ行くとしたら何を持っていくか」と言われれば、「地図帳^(注2)」と答えていた。

なぜこんなに地図が好きなのかよくわからないが、一度考えてみたことはある。地図に使われている色、たとえば山の茶色、平野の緑、都市の赤などの変化やバランスが心地よいのだろう、という結論になった。

しかし、地図を見るのが好きだといっても、知らない土地では道に迷う。地図と実際の風景はまったく違うから、迷うのも当然なのだ。そのことは何とも思っていなかったが、ショックだったのは「地図は平面である^(注3)」ということに気づいたときだった。

その日も、目的地へ向かう際に、いつものように地図を開き、いちばん近い道を通って行くことにした。しかし、その道を進んでみると、上るのをためらうほどの急な坂道になっていた。あまりの坂に驚いて、坂の下で改めて地図を見てみると、私の見つけた道は、壱岐坂^(注2)下という所から壱岐坂上という所を通るコースだった。このとき、「〇〇坂上は本当に〇〇坂の上、〇〇坂下は本当に〇〇坂の下」なのだと思います。平面に描かれた地図を見ているだけでは、急な坂があっても気づきにくい。地名にもっと注意しなければならなかったのだが、地図にだまされた気がしてショックだった。

①それ以来、〇〇坂下から〇〇坂上に行くコースは避けている。

(注1) 無人島：人が住んでいない島

(注2) 壱岐坂：東京にある坂の名前

① 筆者は地図が好きなのはなぜだと言っているか。

- 1 地図を見ていると、道に迷わないから。
- 2 地図の中での、色の使われ方が好きだから。
- 3 地名を覚えるのが好きだから。
- 4 地図と実際の風景が違うのがおもしろいから。

【2】 ①それ以来、○○坂下から○○坂上に行くコースは避けているのはどうしてか。

- 1 地名とは逆に、急な坂を下る道だと予想できるから。
- 2 地名のとおり、急な坂を上る道だと予想できるから。
- 3 地名が正しくないことが多いから。
- 4 地図が正しくないことが多いから。

【3】 筆者は、地図を見るときどんなことに注意しなければならないと言っているか。

- 1 山と平地のバランスのよさは、色だけではわからないこと
- 2 地図を見て遠いと思っても、実際に歩くと近い場合が多いこと
- 3 地図には、道や地名の間違いが少なくないこと
- 4 平面の地図だけでは、実際に歩くときの大変さに気づきにくいこと

問題 10

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

会議では、どのように^{はつげん}発言するのが望ましいでしょうか。たとえば、企画^{きかく}を提案^{ていあん}する場面を考えてみてください。

いちばんよくないのは、自信がなさそうな態度をとることです。声が小さく、オドオド、あるいはモジモジ^(注1)しながら発表するようでは、たとえ中身が優れていても、聞いている人は心を動かされません。

まず大切なのは自信を持つこと。そして、出席者の顔をしっかり見ることです。

その場合は、まずはキーマン^(注2)、たとえば部長なら部長の顔を見て、それから①視線^{しせん}^(注3)を移していき、一人一人の顔を見つめつつ、語りかけるように話していきます。

出席者の顔を見渡^{みわた}すのですから、当然、書面^{しょめん}^(注4)に目を落として^(注5)ばかりはいられません。むしろ書面を見るのは、内容を確認したり、話している内容が書面のどこに書いてあるか説明したりするときぐらいにとどめたいものです。

②こうしたことができるようになるためには、提案^{ていあん}する企画^{きかく}の内容をしっかりと自分のものにしておく必要があります。会議の直前^{ちよくぜん}に急ごしらえ^(注6)でまとめ上げるようでは、とても無理です。

ということは、事前の準備が重要になります。

つまり、企画^{きかく}をプレゼンテーションする行為^{こうい}は、企画^{きかく}を考える段階からすでに始まっているのです。会議だけでうまく発表しようと思っても、どだい^(注7)無理なのです。

自信を持って発表するには、企画^{きかく}自体^{じたい}をしっかりと練^ねって自分のものにしておくことが大前提^{だいぜんてい}。それができたら、臆^{おく}する^(注8)ことなく、一人一人の目をしっかり見て、自信を持って発表することです。

(池上彰『伝える力』PHP 研究所刊による)

(注1) モジモジ：落ち着かない様子や動作をすること

(注2) キーマン：中心人物、重要人物

(注3) 視線^{しせん}：目の向き、目で見える方向

(注4) 書面^{しょめん}：文書^{ぶんしょ}に書かれていること

(注 5) 目を落とす：目を下に向ける

(注 6) 急ごしらえ：急いで作ること

(注 7) どだい：はじめから、もともと

(注 8) 臆^{おく}する：怖がってオドオドする

① ①に入る言葉はどれか。

- 1 次々に
- 2 互いに
- 3 ならびに
- 4 一息に

② ②こうしたことに含まれないのは、次のどれか。

- 1 自信を持って落ち着いて話すこと
- 2 出席者の顔を見渡^{みわた}しながら語りかけるように話をすること
- 3 あまり書面^{しょめん}を見ずに話をすること
- 4 話している内容がどこに書いてあるか説明すること

③ 筆者は、プレゼンテーションのとき一番重要なことは何だと言っているか。

- 1 オドオドしたり、モジモジしたりせずに、堂々^{どうどう}と話すこと
- 2 出席者の顔をキーマンから順に見渡^{みわた}して、目を見つめて話すこと
- 3 時々、書面^{しょめん}で内容を確認しながら慎重^{しんちょう}に話すこと
- 4 準備^{おこた}を怠^ねらないで、十分練^ねってから会議^{のぎ}に臨^{のぞ}むこと

問題 11

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

①日本人の学生のなかには、人前での口頭発表が苦手だという者が少なくない。外国人学生の発表能力は、一般の日本人学生のそれを数段上回っている。(中略) 日本語教育概論の授業には、毎年複数の留学生が登録しているが、第一回目の授業でいきなりスピーチを依頼しても、準備の時間を少し与えれば、100人以上の学生を前にしてひるむ^(注1)ことなく話をする。(中略)

一方、最初の授業で日本人学生に同じことを頼むと、軒並み^(注2)断られる。ただしこのことは、彼らに発表の能力や意志のないことを意味するものではない。断るのは、経験がない、もしくはきわめて少ないことからくる自信のなさの表れであり、自信さえ持てれば挑戦してみたいという気もある。②その証拠に、数週間後、または数ヵ月後に別のテーマで発表者を募ると、自ら立候補する学生が2割ほどいる。(中略)

スピーチや発表に限らず、他者と口頭によるコミュニケーションを行うには、まず、言いたいことがなければならぬ。次に、言いたいことをまとめることができればならぬ。そして最後に、言いたいことが確実に相手に伝わるように工夫して話をしなければならぬ。すなわち、発想し、まとめ、表現する力が求められる。いずれも訓練次第で身につくスキル^(注3)である。

(野口恵子「かなり気がかりな日本語」集英社刊を一部改変)

(注1) ひるむ：気持ちが弱くなり前に進めなくなる

(注2) 軒並み^{のきな}：どれもこれもぜんぶ

(注3) スキル：技術

1 ①日本人の学生の中には、人前での口頭発表が苦手だという者が少なくないのはなぜか。

- 1 100人以上の人の前で発表するのはひるんでしまうから。
- 2 外国人学生のほうが上手なので、恥ずかしいから。
- 3 発表するための能力や意志がないから。
- 4 これまで発表する機会が少なかったから、自信がないから。

② ②そのはどんなことを指しているか。

- 1 発表を頼まれても最初は断ろうとすること
- 2 自信がつけば発表してみたいと思っていること
- 3 数週間後や数ヵ月後に発表する人が多いこと
- 4 準備の時間があれば上手に発表できること

③ 筆者がこの文章で言いたいことは何か。

- 1 日本人学生は外国人学生に比べて消極的である。
- 2 日本人学生は外国人学生に比べて自信のない人が多い。
- 3 ^{ひとまえ}人前で上手に話す能力は訓練や経験によって身に付くものだ。
- 4 ^{ひとまえ}人前で話すためには数週間から数ヵ月の準備が必要である。

問題 12

次の文章は、他人との距離の取り方についての文章と、それと関連する A と B の話である。三つの文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

通常、わたしたちは、距離（空間）がとれるものであれば、見知らぬ（注1）他人とはかならず一定程度離れたところに身体を置く。①空間的に他者とのしきり（注2）を無意識につくっているのである。（中略）満員電車の中で、わたしたちは身体を接する他人との距離を物理的にはとれないとなると、非物理的にとることを考え始める。たとえば目をつぶることで、視覚的に現状を消し去ろうとする。

（柏木博「しきり」の文化論」講談社刊による）

【A の話】

電車の中で長い座席の真ん中と端とどちらに座りたいか大学のゼミの仲間に聞いてみたら、7割の人が「できれば端の席に座りたい」と答えました。その理由を聞いてみると、隣にいる他人が一人だけなのと、両側から挟まれているのでは、居心地の点でかなりの違いがあるということです。社会心理学の教授に聞いたら、これは、「パーソナルスペース」つまり、自分のテリトリーを守りたいという心理が働いているようで、自己防衛のためのスペースを確保しているのだそうです。

【B の話】

読書をするのに一番集中できる場所はどこかと家族や同僚に聞いてみたことがあります。すると「通勤電車の中」と答えた人が非常に多かったことにびっくりしました。たとえ、それが立ったままであっても、かなりの人が満員電車の中でも読書に没頭して（注5）いるようです。満員電車の中という状況で、なぜ集中できるのでしょうか。ある雑誌の記事によると、人は、満員電車のような物理的な「パーソナルスペース」を確保できない状況では、読書、携帯のメール、音楽などに没頭することにより、非物理的な「パーソナルスペース」を確保し、ストレスから逃れているそうです。

- (注1) 見知らぬ：見た覚えがない
- (注2) しきり：仕切るもの
- (注3) 居心地：ある場所にいるときの感じや気持ち
- (注4) テリトリー：自分だけのための場所
- (注5) 没頭する：一つのことに熱中する

① ①空間的に他者とのしきりを無意識につくっているとあるが、一番近いのはどれか。

- 1 さまざまな方法で現状を遮断する。
- 2 自分を守るためのスペースを確保する。
- 3 目をつぶって考え事をする。
- 4 満員電車の中でのストレスから逃れる。

② A と B の話について、正しいのはどれか。

- 1 A も B も他人との物理的距離について話している。
- 2 A も B も他人との非物理的距離について話している。
- 3 A は他人との物理的距離、B は非物理的距離について話している。
- 4 A は他人との非物理的距離、B は物理的距離について話している。

問題 13

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

「私、絵が描けないのです」と言う人がたまにいる。そんな訳はない。紙とペンがあれば誰だって描ける。紙がなくなったって、何だっていい。でも描けないというのは、「それらしく」描かなくてはならないという気持ちがあるからだ。馬を描きたかったんだけど牛になってしまった、りんごを描いたのがみかんに見える。だから①絵はうまくない、描きたくないとなる。

でも、絵は正確さを要求されるものではない。自分の馬、自分のりんごを描けばいい。絵はそれくらい「いいかげん」なものであり、許容範囲の広いものである。本物らしく描くことは、描くことではなく写すこと。描くということは自分なりの形でいいのだ。

熊本で障害をもつ子供たちと絵を共作する機会があった。夏休みだったので、屋外で、走り回りながら絵を描こうと思ったのだが、主催者側の人は「足の悪い子もいるから外へ出るのはどうでしょうかねえ」と首をかしげる。「手の不自由な子もいるんですか」と聞いてみると、「ええ。目の悪い子もいます」という。

どうしたものだろうと、正直いって迷いながら、当日、会場に行くと、こっちの迷いや緊張が子供にも伝わっているみたいで、雰囲気はどうも悪い。緊張をほぐすために話をしようと、名札を見ながら、

『ケイタくんは何年生?』

と話しかける。すると、となりの子が、

『ケイタの耳、よく聞こえない』

そんなふうでどうもきこちない。

そこで、大きな白い紙を机の上に広げて、②とりあえずアクションを起こす。

まず青で塗る。とにかく、勢いよく塗り始めた。すると、その筆が走るスピード感や白い紙がどんどん青くなっていく感じに子供たちが反応し始め、表情も変わってきた。

身をのりだして来た子供の手には絵の具をつけると、それがきっかけで子供たちも筆を取りだして、あとはもう無法地帯。何を描く訳でもなく、大勢で色遊びをしながら絵を描き続けていった。

出来上がった絵を、みんなで鑑賞した。その絵は美術館でガラス越しに見る絵よりも、自分たちに伝わってくるものがある。知らない人が描いた絵より、自分たちが描い

たというリアルな感^{かんしよく}触がある。一人で描^かいた絵より、大勢で描^かいたほうが驚^{おどろ}き・発見がある。誰^{だれ}だって絵を描^かけるし、誰^{だれ}だって絵を楽しめる。

それらしく描^かく技術よりも喜んで描^かく気持ち大切であり、③絵に失敗はなく、不正^{ふせい}確^{かく}もない。それが自分の作品であり、それは自分の世界である。

（日比野克彦『8万文字の絵』PHP 研究所刊による）

① ①絵はうまくない、描^かきたくないと言う人に対して、筆者はどうすればいいと言っているか。

- 1 馬を牛のように、りんごをみかんのように描^かけばいい。
- 2 自分の持っている馬やりんごを描^かいておけばいい。
- 3 それらしく描^かきたかったら、写せばいい。
- 4 それらしく描^かこうとしなければいい。

② ②とりあえずアクションを起こすとあるが、誰^{だれ}が何をしたのか。

- 1 子供たちが白い紙を机の上に広げた。
- 2 子供たちが色を塗り始めた。
- 3 筆者が色を塗り始めた。
- 4 筆者が子供たちに絵を描^かかせ始めた。

③ ③絵に失敗はなく、不正^{ふせい}確^{かく}もないとは、どういう意味か。

- 1 それらしく描^かこうとすると失敗したり不正^{ふせい}確^{かく}になったりする。
- 2 “失敗した絵” “不正^{ふせい}確^{かく}な絵” というものは存在しない。
- 3 喜んで描^かけば、失敗したり、不正^{ふせい}確^{かく}になったりしない。
- 4 失敗も不正^{ふせい}確^{かく}もあるが、それは自分の実力なのだ。

④ この文章で筆者が言いたいことは何か。

- 1 本物らしく描^かく技術をつけるには、本物を写せばいい。
- 2 絵をそれらしく描^かこうとするのではなく、いいかげんに描^かけばいい。
- 3 絵は大勢でスピード感を持って描^かくことが大切だ。
- 4 絵はそれらしく描^かく技術より喜んで描^かく気持ち大切だ。

問題 14

次のページは、^{なか}く^{くりつ}中区の区立図書館の利用案内である。下の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

① 初めて本やCDを借りるとき、何が必要か。

- 1 通勤、通学が確認できるもの
- 2 住所と氏名^{しめい}が確認できるもの
- 3 日本人であることが確認できるもの
- 4 ^{なか}く^{くりつ}中区の住民であることが確認できるもの

② 借りたCDを返すとき、どうすればいいか。

- 1 中央カウンターに住所、氏名^{しめい}が確認できるものと一緒に持っていく。
- 2 ^{へんきやく}返却カウンターに貸出券と一緒に持っていく。
- 3 ^{へんきやく}返却カウンターにCDだけ持っていく。
- 4 正面入り口のブックポストにCDだけ入れる。

なかくりつ
中区立図書館利用のご案内

1. 登録 ～貸出券を作るには～

- 「貸出申込書」に記入して、住所、氏名の確認ができるもの（学生証、免許証、保険証等）と一緒に中央カウンターまでお出しください。
 - 「貸出券」は中区立図書館全館共通です。中区以外にお住まいの方も登録できます。
 - 住所変更等は、中央カウンターまでお申し出ください。
 - ご登録氏名、住所、電話番号は、3年ごとに確認させていただきます。
- なお、5年間貸出がない場合は、登録データを抹消（注1）させていただきます。

2. 貸出 ～資料を借りるときは～

- お借りになりたい資料と貸出券を貸出カウンターにお出しください。
- 貸出点数は、図書、雑誌、コミックセット、CD等を含めて一人20点までです。
- 貸出期間は2週間です。
- 上町図書館、区民センター図書館、中町駅前図書館では、おもちゃの貸出もしています。

3. 返却 ～資料を返すときは～

- 返却期限内に返却カウンターへお返しください。貸出券は必要ありません。
 - 返却は中区立図書館のどの図書館でもけっこうです。
 - 閉館（注2）時は、図書館の正面入り口の前にあるブックポストにお返しください。
- ただし、CD、CD-ROM、カセットテープ、コミックセット、おもちゃは、直接返却カウンターにお返しください。

4. 貸出期間の延長

- 返却日までに返却できない場合は、2週間単位で、2回まで延長ができます。
- 延長手続きは、貸出期限内に電話、または、ご自宅のパソコンからお申し出ください。ただし、予約が入っている場合や返却期限が過ぎている場合は延長できません。

（注1）抹消：消すこと

（注2）閉館：図書館が開いていないこと

練習問題

ちょう かい
聴 解



もんだい
問題 1

問題 1 では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。



ばん
1 番



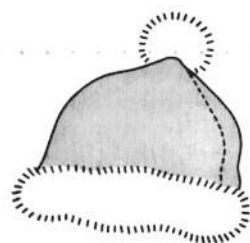
ア



イ



ウ



エ



オ



カ

- 1 イ エ
- 2 ア オ
- 3 ウ カ
- 4 エ カ



ア



イ



ウ



エ

1 ア

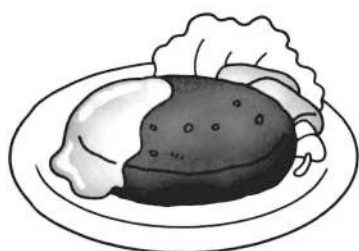
2 イ

3 ウ

4 エ



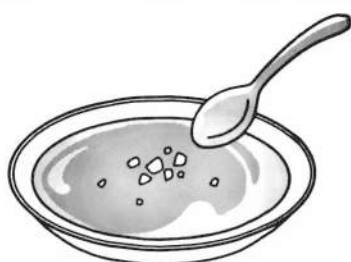
3 番



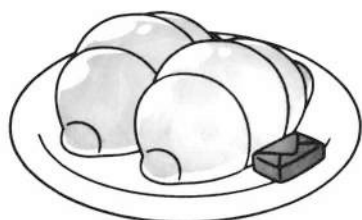
ア



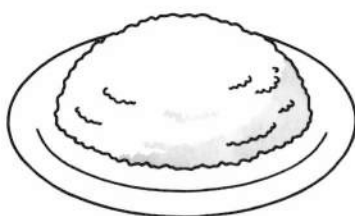
イ



ウ



エ



オ



カ



キ

1 ア イ エ カ

2 ア イ ウ エ

3 ア エ カ キ

4 ア ウ エ カ



4 番

06

- 1 文字の間違いを直す
も じ ま ち が な お
- 2 写真を付け加える
しゃしん つ くわ
- 3 過去の状況のグラフを付け加える
か こ じょうきょう つ くわ
- 4 過去の状況を言葉で説明する
か こ じょうきょう ことば せつめい



5 番

07

- 1 電話で送り先を確認する
でん わ おく さき かくにん
- 2 手紙で招待状を送る
て がみ しょうたいじょう おく
- 3 ファックスで招待状を送る
しょうたいじょう おく
- 4 ファックスで送り先を確認する
おく さき かくにん



問題 2

問題 2 では、まず質問を聞いてください。そのあと、問題用紙のせんたくしをよ読んでください。読む時間があります。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 のなかから、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。



1 番

- 1 今週の金曜日か土曜日
- 2 今週の土曜日か日曜日
- 3 来週の金曜日か土曜日
- 4 来週の土曜日か日曜日



2 番

- 1 海で泳ぐこと
- 2 火山の溶岩を見ること
- 3 珍しい動物を見ること
- 4 山の中を歩くこと



3 番

- 1 家でのお遊び
- 2 映画に行く
- 3 買い物に行く
- 4 植物園に行く



4 ばん

12

- 1 来週らいしゅうの授業じゅぎょうのとき
- 2 来週らいしゅうの授業じゅぎょうの前まえ
- 3 来週らいしゅうの火曜日かようびの5時じ
- 4 来週らいしゅうの水曜日すいようびの5時じ



5 ばん

13

- 1 着るものきるものの趣味しゅみは悪いわるが、スタイルスタイルがいいところ
- 2 スタイルスタイルは悪いわるが、着るものきるものの趣味しゅみがいいところ
- 3 普通ふつうの人ひとと同じものおなじものを着きていてもかっこいいところ
- 4 有名ゆうめいなデザイナーデザイナーの服ふくでも普通ふつうに見みえるところ



6 ばん

14

- 1 インド料理りょうりを食たべに行いく
- 2 自分じぶんでお弁当べんとうを買かってくる
- 3 お弁当べんとうを買かってきてもらう
- 4 昼ひるご飯はんは食たべない



15

もんだい
問題 3

問題 3 では、問題用紙に何もいんさつされていません。この問題は、全体としてどんな内容かを聞く問題です。話の前に質問はありません。まず話を聞いてください。それから、質問とせんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。

—メモ—



15

もんだい
問題 3

問題 3 では、問題用紙に何もいんさつされていません。この問題は、全体としてどんな
 内容かを聞く問題です。話の前に質問はありません。まず話を聞いてください。それか
 ら、質問とせんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最もよいもの一つを選んでくださ
 い。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。

—メモ—



もんだい
問題 5

34

問題 5 では長めの話 を聞きます。この問題には練習 はありません。メモをとってもか
まいません。



ばん
1 番

35

問題用紙に何もいんさつされていません。まず話 を聞いてください。それから、質問と
せんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最 もよいものを一つ選んでください。

—メモ—



36

2 番

まず話^{はなし}を聞^きいてください。それから、二つの質^{ふた}問^{しつもん}を聞^きいて、それぞれ問^{もん}題^{だい}用^{よう}紙^しの1から4の中^{なか}から、最^{もっと}もよ^よいもの^{もの}を一つ^{ひと}選^{えら}んでください。



37

ア 授^{じゅ}業^{ぎょう}をサボりたい

イ なるべく授^{じゅ}業^{ぎょう}に出^でたい

ウ 最^{さい}後^ごの15分^{ふん}だけ授^{じゅ}業^{ぎょう}に出^でたい

エ 家^{いえ}に帰^{かえ}りたい

質問 1

1 ア 2 イ 3 ウ 4 エ

質問 2

1 ア 2 イ 3 ウ 4 エ

まとめのテスト

「まとめのテスト」は、日本語能力試験の問題数の、約半分の問題数になっています。実際の試験の、半分の時間を目安にして、問題を解きましょう。

〈目安の時間〉

文字・語彙、文法、読解	52 分
聴解	25 分

問題 2

_____の言葉を漢字で書くとき、最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 明日、再度、れんらくをいただきたいのですが、よろしいでしょうか。

- 1 連落 2 練絡 3 連絡 4 伝絡

② 京都へ旅行したとき、古くてめずらしい着物を見せてもらった。

- 1 少しい 2 珍しい 3 貴しい 4 宝しい

③ 店の前に車を止めたら、すぐにけいびいんが近寄ってきた。

- 1 検察員 2 警察員 3 検査員 4 警備員

問題 3

()に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① マッサージがどんなに痛くても、「大丈夫」と言っても () 我慢してしま
う。

- 1 うそ 2 やせ 3 へん 4 むり

② インフルエンザにかかって、一週間、寝 ()。

- 1 こんだ 2 いった 3 すごした 4 ほけた

③ 合理 () な理由がなければ、税を引き上げることは反対です。

- 1 化 2 性 3 的 4 論

問題 4

() に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① () 勉強もしなかったのに、テストに合格した。

- 1 とても 2 たいてい 3 大して 4 たまに

② 頂上まで () ^{やまみち}山道が続いている。

- 1 ^{くわ}詳しい 2 ^{はなは}甚だしい 3 やかましい 4 ^{けわ}険しい

③ このレストランは人気があつて、開店と同時に () ^{かいてん}ができる。

- 1 ^{まんいん}満員 2 ^{ぎょうれつ}行列 3 ^{らいきゃく}来客 4 ^{しゅうごう}集合

④ この先は急な () があるので、スピードを落としてください。

- 1 チェンジ 2 トンネル 3 ブレーキ 4 カーブ

問題 5

_____の言葉に意味が最も近いものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① ほうほう探しても見つからなかったのに、同僚^{どうりょう}に聞いてみたら、すぐに見つかった。

- 1 うろうろ 2 あちこち 3 まちまち 4 あゝこれ

② インターネットで言葉を入れて調べると、たくさんの情報が得られる。

- 1 検討^{けんとう}する 2 予測^{よそく}する 3 検索^{けんさく}する 4 処理^{しり}する

③ ガラス製品は割れないように慎重^{しんちょう}にあつってください。

- 1 丁寧^{ていねい}に 2 重^{おも}そうに 3 静^{しず}かに 4 貴重^{ききょう}に

問題 6

次の言葉の使い方として最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 単なる

- 1 単なるうわさですから、本当かどうかわかりません。
- 2 おじいさんは、昔の単なる話を何回も話す。
- 3 準備をするのに単なる10分しかかからなかった。
- 4 これは私の単なる思い出の写真なので、大切にしている。

② そろえる

- 1 車が高速道路をそろえて、走っている。
- 2 ^{だれ}誰かに伝言をそろえてください。
- 3 新しい商品を売るために、忙しくそろえている。
- 4 必要な書類をそろえて、^{ていしゅつ}提出する。

③ くれぐれも

- 1 わからないことはくれぐれも調べます。
- 2 夕日がくれぐれもきれいです。
- 3 ご両親にくれぐれもよろしくお伝えください。
- 4 明日は、くれぐれも遅くならないと思います。

問題 1

次の文の（ ）に入れるのに最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 政府には、経済対策（ ）、環境問題についても早急に方針を示してほしい。

- 1 はもちろん 2 は問わず 3 にとって 4 に過ぎず

② 市立図書館の移転先を（ ）、市側と周辺住民側の間で意見が対立しています。

- 1 わたって 2 かねて 3 めぐって 4 あたって

③ 田中さんの歌はすばらしい。特に声のよさ（ ）誰にも負けないだろう。

- 1 をこめては 2 にむけても 3 にしては 4 にかけては

④ インターネットが普及して、どれだけ便利になった（ ）。

- 1 そうだ 2 ものだ 3 ことか 4 はずか

⑤ ちょっと失敗したぐらいで、そんなに（ ）。

- 1 泣くほかない 2 泣いたぐらいだ
3 泣くものではない 4 泣いたことではない

⑥ 今日は課題のレポートが（ ）、遊びに行けない。

- 1 終わってからでないと 2 終わるとすれば
3 終わってはじめて 4 終わろうものなら

問題 2

次の文の ★ に入る最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

① 娘の夢は応援^{おづえん}したいが、 _____ ★ _____ 早く就^{しゅうしょく}職してほしい。

- 1 から 2 親の 3 言うと 4 立場

② 今の仕事は自分に向いていないと思うが、 _____ ★ _____、特にやりたいことがあるわけではないので、しばらくは勤めてみよう。

- 1 辞めたと 2 たとえ 3 しても 4 会社を

③ 息子と、ゲームは1日1時間までという約束をしたが、休みの日は _____ ★ _____ ばかりしている。

- 1 1時間 2 ゲーム 3 一日中 4 どころか

問題 3

次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、① から ⑤ の中に入る最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

今年の春、引越を機^きについてソファを買うことにした。東京^{とうきょう}中の家具屋を歩き回り、某^{はう}有名輸入家具店で「これだ!」というものを見つけた。私は銀行に走り、自転車を買う子供の如く^{ごと}お金を握^{にぎ}って店に駆け込んだ。「あれ! あれ下さい! 今すぐ買います!」店員は冷静な表情で言った。「その前に、あのソファがお宅の玄関^{げんかん}を通るかどうか①」えっ? なんで? たかが一人掛けのソファなのよ、あなた。玄関^{げんかん}なんか②でしょうが。「配達してみても実は大きすぎて玄関^{げんかん}を通らなかったというお客様がよくいらっしゃるんです。お住まいはマンションですか? 階数は?」集合住宅で三階。そう答えると彼はササと表情を曇らせるのであった。「是非、サイズを計ってからにしてください。ご自宅で見たら売り場での印象の一・五倍はあると思って下さいね」

私は現金^{にぎ}を握^{にぎ}ってすごすごと帰宅し、巻尺^{まきじゃく}で玄関^{げんかん}の幅を計り、その数字を見て愕然^{がくぜん}とした。確かに大きい。縦^{たて}にしても、横^{よこ}にしても入らないのである。電話でその旨^{むね}を暗く告げると、件^{くだん}の店員は「玄関^{げんかん}を入ったところに余裕^{よゆう}はありますか?」と尋ねる。造り付けの靴箱^{くつばこ}があり、その上のスペースが空いていると言うと、彼はソファの足を外して、横^{よこ}にしてくると③入るかもしれない、と言うのであった。④私は靴箱^{くつばこ}の幅^{くつばこ}、靴箱^{くつばこ}から天井^{てんじょう}⑤長さなどあらゆるサイズを計ってFAXをした。結果はOKであり、めでたくソファは我が家^{わがや}にやってきた。とても嬉しかった。

(恩田陸「念願かなって…」『小説以外』新潮社刊による)

- | | |
|----------------|-------------|
| ① 1 確認いたしております | 2 確認いたして下さい |
| 3 確認なさっています | 4 確認なさって下さい |
| ② 1 通るに決まってる | 2 通るにしたがってる |
| 3 通るにまかせてる | 4 通るに限ってる |
| ③ 1 回すことにすれば | 2 回すようにすれば |
| 3 回すかにすれば | 4 回すほうにすれば |

4 1. そこで 2. すると 3. その上 4. ただし

5 1. への 2. ほどの 3. までの 4. よりの

問題 1

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

そう、実は、私は今、心から後悔して(注1) いるのだ。あの時、堂々と(注2) 手を振ればよかった！ 女房の肩でも抱きながら手を振ってもよかった。そのことで日本の誰に何を言われようが、女房が宇宙旅行の任務を果たした(注3) ことには変わりがなかったのだ。そして、この私が自分なりに精一杯(注4) 女房をサポート(注5) したという事実にも。アメリカ人乗組員の奥さん達は皆、堂々と手を振っていたのだ。私がしてはいけない理由などなかったではないか。——でも、あの時、オレには出来なかった。オレのことを“奥さんを支える旦那さん”なんて言って、新しい時代の男みたいに妙に持ち上げてくれる人がいるけれど、それって買いかぶり(注6) なんだよな。だって、オレって、人に何を言われるかを心配して行動している昔ながらの日本の男に過ぎなかったんだから。

(向井万起男「女房が宇宙から帰ってきた」『文藝春秋 1999年3月号』文藝春秋刊による)

(注1) 後悔する：前にしたことを、あとになってから「しまった」と思う

(注2) 堂々と：大きくて立派な様子で

(注3) 任務を果たす：責任を持って仕事をする

(注4) 精一杯：力の限りする様子

(注5) サポート：助けること、支えること

(注6) 買いかぶり：本当の価値より、高く評価すること

1 筆者が後悔していることは何か。

- 1 手を振るときに、妻の肩を抱かなかったこと
- 2 妻が宇宙旅行の任務を果たしたことに変わりがいないこと
- 3 アメリカ人乗組員の奥さん達は、堂々と手を振っていたこと
- 4 人に何を言われるかを心配して行動したこと

問題 2

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

現在、先進^{せんしん}国の都市を中心とする国際的な物質循環^{じゅんかん}の流れは、途上^{とじょう}国の農村のすみずみにまで浸透^{しんとう}し(注1)ようとしています。私たちは時として無意識のうちにも、この流れの中心である先進^{せんしん}国の「もの」や「技術」を途上^{とじょう}国に持ち込み、その地の人をこの流れに従^{したが}わせようとしています。しかし、本来、その地で役立つ「技術」はその地で生み出されねばならないし、「もの」や「お金」を必要以上に持ち込んで、その人たちに不本意^{ふほんい}な(注2)依存^{いぞん}体質^{たいしつ}(注3)を作り出してはなりません。

(岩崎駿介「地球人として生きる」岩波書店刊による)

(注1) 浸透^{しんとう}する：しみ込む

(注2) 不本意^{ふほんい}：自分の本当の望みに合わないこと

(注3) 依存^{いぞん}体質^{たいしつ}：ほかのものに頼る性質

① 筆者がこの文章で最も強く述べようとしていることは何か。

- 1 物質^{じゅんかん}循環^{とじょう}の流れは、途上^{とじょう}国も含めてもはや世界的なものになっている。
- 2 「もの」や「技術」や「お金」は、それが作られた国以外の地では使えないものだ。
- 3 途上^{とじょう}国の発展は、先進^{せんしん}国への依存^{いぞん}によらず、途上^{とじょう}国自身の力で成し遂げられるべきだ。
- 4 途上^{とじょう}国は先進^{せんしん}国の「もの」や「お金」に依存^{いぞん}することでこれからも発展していく。

問題 3

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

脳の障害で、失読症が生じることがある。つまり脳の一部分が壊れると、字が読めなくなる。これを失読症という。ところがこの症状で、①日本人だけに妙なことが起こる。失読症が二種類生じるのである。つまりカナ失読と漢字失読である。ある人はカナだけが読めなくなる。他の人は、漢字だけが読めない。カナだけが読めなくても、まあ新聞なら中国語の新聞を読んでいるようなものであろう。しかし、漢字が読めなくなると、小学校以前に退行したことになる。

(養老孟司『考えるヒト』筑摩書房刊による)

1 ①日本人だけに妙なことが起こるとあるが、たとえばどんなことか。

- 1 漢字もカナも読めるが、小学生程度の漢字しかわからなくなる。
- 2 カナが読めなくなり、漢字だけ読めるようになる。
- 3 カナが読めなくなったあと、漢字も読めなくなる。
- 4 漢字が読めなくなり、日本語も中国語も同じように見えてしまう。

問題 4

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。

「思考の整理学」の著者、外山滋比古さんが東大キャンパスで講演を行った。

「コンピューターに負けないためにどうすればいいか。ずっと考えていて、『忘却こそが大切だ』と気づきました」

「思考の整理学」は、考えることの楽しさを述べた本だ。それが「忘却」とどう結びつくのか。外山さんは語り始めた。

「人間は記憶と再生で、コンピューターにかなわない。私たちの記憶力は不完全で、絶えず忘れてしまう。でも、人間のように選択しながらうまく忘れることがコンピューターにはできない」「忘れることを恐れないこと。おびたしい情報で①頭がメタボ(注1)になれば、考えることができなくなる」(中略)

質疑応答で、学生の一人が「忘却せよ、と言われると、僕は瞬く間に単位を落としてしまいそうです」と質問。会場が笑いにつつまれた。これに外山さんはまじめに答える。「知識も食べ物と同じで大事なもののだけ頭で消化して、不要なものは出してしまおう。知識を得られるだけ得た後、自分で適当にそれを捨てて、頭に残った知識を個性化していくことです。新しい考えは集団の単位ではなく、1人で考えないといけない。それではなくては前人未到(注2)の思考にたどり着かない」(中略)

話を聞いた学生の一人は、「自分は創造性がないなあ、とよく思います」という。「研究していても、たくさんの理論でがちがちになって、自分の頭でものを考えることができない。(中略)忘れてもいいと言うのは、励ましの言葉です」

(2009年8月3日付け朝日新聞朝刊を一部改変)

(注1) メタボ：メタボリック・シンドロームの略。内臓脂肪が蓄積されてしまい、肥満になる状態。外山さんはたとえとして使っている。

(注2) 前人未到：誰も思いつかない

① ①頭がメタボになればとあるが、頭がメタボになると近い^{じょうない}状態を指しているのはどれか。

- 1 理論^{りろん}で頭ががちがちになる。
- 2 大事なもののだけ頭で消化する。
- 3 残った知識^{こせい}を個性化していく。
- 4 絶えず忘れてしまう。

② コンピューターにできて人間にできないことは何か。

- 1 一人で考えること
- 2 完全に記憶^{きおく}・再生^{さいせい}すること
- 3 不要^{ふよう}なものは出してしまうこと
- 4 自分で適当に捨てること

③ 外山^{とやま}さんが学生に一番伝えたいことは何か。

- 1 コンピューターに負けてはいけないということ
- 2 知識を得られるだけ得るのはよくないということ
- 3 選択^{せんたく}しながらうまく忘れることが大切だということ
- 4 忘れなければ次のことが覚えられないということ

問題 5

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4 から一つ選びなさい。

ヒトの進化の歴史にとって最も重要な道具の一つに石器がある。石器の作り方は誰かがどこかで思いついたもののはずだ。しかし、その発明の伝達^{でんたつ}がなければ、皆が石器^{せっき}を使えるようにはならない。(中略)

例えば石ころからナイフを作らねばならないとする。作り方を知っている人は、知らない人に、どのような角度でどう石を削^{けず}ればナイフになるかを伝えねばならない。①それは言葉があれば可能だと思う人がいるかもしれない。しかし、本当の技術とは、言葉で表すことはできない。それは感覚でしかないからだ。

学ぶ側はまだシンプルだ。先生の体の動き^{うご}を注意深く観察すればいい。(中略)より複雑なのは教える側だ。何かを積極的に教えようとする、教わる側から見て、自分がどのように見られているかを意識しなければならない。伝わりにくいと思われる個所^{かしょ}にすれば、動き^{うご}を強調したり、速度を遅くしたりして感覚を伝える努力をする。それをうまくやるには、他者の感覚に敏感^{びんかん}であるのみならず、その他者^{たしや}から見て、自分がどのように見えているかがわかっていなければならない。(中略)

仮^{かり}にチンパンジーであれば、たとえよい生徒になれたとしても、②決してよい先生にはなれない。チンパンジーは積極的に教えるということをしな^しない。他者^{たしや}に見られながら自分を見せるという③双方向^{そうほうこう}の伝達^{でんたつ}が存在しないからだ。この「教える／教わる」という奇跡^{きせき}的な能力こそ、個人が思いついた発明を、社会的な財産へとつなげるヒト特有^{とくゆう}の能力なのである。

(金沢創「他者の心・自分の心」2009年3月15日付け朝日新聞朝刊を一部改変)

① ①それは何を指しているか。

- 1 石ころからナイフを作ること
- 2 ナイフの作り方を伝えること
- 3 石を適当な角度で削^{けず}ること
- 4 適当な石ころを探すこと

② ②決してよい先生にはなれないのはどうしてか。

- 1 本当の技術は言葉で表すことはできないから。
- 2 まねはできても、言葉で伝えることができないから。
- 3 体の動き^{うご}を注意深く観察することができないから。
- 4 自分の見え方を意識しながら伝えることができないから。

③ ③双方向^{そうほうこう}とは何を指しているか。

- 1 教える側と教わる側
- 2 作る側と使う側
- 3 言葉と体の動き^{うご}
- 4 技術と感覚

問題 6

次の文章は、「相談者」からの相談と、それに対する A と B からの回答である。三つの文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを 1・2・3・4 から一つ選びなさい。

相談者：

勤務先の会社でチームリーダーとなってしまう、困っています。私は、他人の意見を聞くとついそれに納得^{なっとく}してしまう傾向があります。自分の強い考えを持っているというより、他の人の意見を聞きながら仕事を進めています。こんな私に、チームリーダー^{つと}が務まるのでしょうか。不安です。

回答者：A

リーダーといえば、強いリーダーシップと信念^{しんねん}を持って、ぐいぐい引っ張っていく人を想像しがちですが、決してそれだけがリーダーのタイプではありません。チームの仕事の進め方を考えてみてください。雰囲気^{ふんい}がよく、メンバーが互いに意見を言い合って結論を出し、協力して仕事を進める姿^{すがた}が理想ではありませんか。あなたは、その「調整役^{ちようせい}」になれるはずです。少し時間はかかるかもしれませんが、長く続けるためにはすぐに何かをしようと思わないことです。自分は自分がなれるリーダーを目指せばいいのです。要^{よう}は、チームのメンバーが仕事をやりやすい状況を作ることです。

回答者：B

あなたの考えるリーダーも一つの姿^{すがた}ですね。しかしそれを急いで目指す必要はありません。その前に、自分としての「ビジョン（将来像）」があるかどうかが重要だと思います。できるだけ将来につながるようなビジョン^{かか}を掲げ、それをもとにグループのメンバーと話し合ってみてください。リーダーの姿^{すがた}というのは決して一つではありませんから、話し合う中でグループとあなたの関係にふさわしいリーダー像が見つかると思います。ビジョンが共有^{きようゆう}されていれば、あなたらしいリーダーシップが発揮^{はつき}できるはずです。

① A、B のアドバイスを共通していることは何か。

- 1 リーダーシップを発揮^{はつき}して、メンバーをぐいぐい引っ張ること
- 2 自分の強い考えを持って、メンバーの意見を一つにまとめること
- 3 早めに成果^{せい かい}を上げるために、よく話し合ってリーダー像を見つけること
- 4 リーダーにはさまざまなタイプがあるから、自分なりのものを目指すこと

② A、B それぞれのアドバイスのポイントは何か。

- 1 A は仕事がしやすい環境作りを目指すこと、B はグループでビジョン^{きょうゆう}を共有すること
- 2 A はグループでビジョン^{きょうゆう}を共有すること、B は仕事がしやすい環境作りを目指すこと
- 3 A は自分の信念^{しんねん}を持つこと、B は自分でリーダー像を明確にすること
- 4 A は自分でリーダー像を明確にすること、B は自分の信念^{しんねん}を持つこと

問題 7

次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

私が文章を自分の仕事と決めてから、丸八年になろうとしている。

振り返ってみると、ただ無我夢中で原稿用紙のます目^(注1)を埋めてきた毎日であった。才能の乏しい^{とほ}私が、何とかこの仕事で生きのびるには、とにかく書くことしかない。書いて少しでも腕を上げ^{うで あげ}^(注2)、才能の貧しさをカバーしなければならないからである。

もちろん、ただ書けばいい……というわけではない。でも、書くという作業に馴れる^なためには、半ば義務のように毎日机に向かい、文章を作り続けなければ、いつまでたってもごちない^(注3)文章しか生み出せないような気がして休めないのである。

いつもノートやメモを持ち歩いた。何かふっと思いついた時、面白い話を見聞きした時、私は必ずそのノートに記した。すぐに使えても使えなくても、ノートの走り書きは①宝である。たまにノートを忘れて出してしまうと、怖くて落ち着かない。すぐに文房具屋を探して飛び込み、慌ててメモ帳を買ったこともあった。

ところが、そんな風に戦うようにして仕事をしてきた私に、半年ほど前から少しばかり②疲れが見え始めてきた。疲れと言うと、何となくカッコがいいけれど、つまり、緊張の糸がほんの少しゆるんだ感じなのである。

仕事をする時は今でも、たとえどんな内容であろうが何枚であろうが同じように苦しむ。でも最近、苦しい時に思わず安易な書き方を選んだり、小さくまとめたしまったりすることがあるのである。こんなことを言うのは実に恥ずかしいことなのだが、正直に言って、気を抜いて鉛筆を走らせてしまうこともあるのだ。それに気づいた時、私は愕然^{げんぜん}^(注4)とした。(中略)

才能の乏しさや下手さは百も承知である。でも、自分なりに考え、自分の力を出しきり、丁寧に真剣に書くことが私の唯一の売りものだった。新人にはそれしかない。ところが、上べ^{うわ}^(注5)はそれなりに形をなし、体裁を整えながらも、明らかに気を抜いて書いたと分かるような文章を書いて出してしまった時の憤り^{いきどお}^(注6)は、どうしてもなく③私を苦しませる。

馴れというのは恐ろしいものである。運転でも仕事でも、馴れた頃が一番危険だと言うがまさにその通りである。

(神津カンナ「馴れ症候群」「私らしく」生きる」三笠書房刊による)

(注1) ます目^め：原稿用紙^{げんこう}の中、文字一字を書く四角

(注2) 腕^{うで}を上げる^あ：上手になる

(注3) ぎこちない：練習、慣れ^なが不足しているために上手くない

(注4) 愕然^{がくぜん}：意外な、思いもしなかった現実を知り、ひどく驚^{おどろ}くこと

(注5) 上^{うわ}べ：表面、見かけ、中身を問題としない

(注6) 憤^{いきどお}り：怒ること、腹が立つこと

① ①宝であるとあるが、どういう意味で宝であるのか。

- 1 ノートを持っていると、ふっと何かいい考えを思いつく。
- 2 外出時も文章を書くことで、乏^{とほ}しい才能がカバーできる。
- 3 ノートに書いたことが、文章を書くときの助けとなる。
- 4 ノートを持っていることによって、落ち着いていられる。

② ②疲れが見え始めてきたとあるが、どういうことか。

- 1 義務^{ぎむ}のように文章を作り続けることが少なくなった。
- 2 外出のとき、ノートやメモ帳^{ちよう}を忘れることが多くなった。
- 3 なかなか文章が書けなくて苦しむようになった。
- 4 安易な書き方を考えたり、小さくまとめてしまったりするようになった。

③ ③私を苦しませるとあるが、何が私を苦しませるのか。

- 1 筆者自身の感じている、文章を書く才能^{とほ}の乏しさや下手さ
- 2 唯一^{ゆいいつ}の売りものだった丁寧^{ていねい}に真剣^{しんけん}に書かないようにすること
- 3 丸八年もたった今でも、新人^{しんじん}のような文章しか書けないこと
- 4 気を抜いて書いたとわかる文章を公表すること

④ この文章で筆者が述べていることは何か。

- 1 丸八年がたち、手を抜くことを覚えてしまった自分を恥^はじている。
- 2 いまだに文章を書くことが上達しない自分の才能に苦しんでいる。
- 3 自分が納得^{なっとく}できる文章を書くことに疲れを感じている。
- 4 仕事に慣れていろいろな文章の書き方が身に付いたと思っている。

問題 8

次のページは、子ども向けの^{かんこうちょう}官公庁のウェブサイトの簡単な説明である。下の問いに対する答えとして、最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

- ① ^{たろう}太郎君はゲームやクイズをしながら学びたいと思っている。それができるのはどのウェブサイトか。

- 1 A、B、E
- 2 B、C、D
- 3 B、D、E
- 4 A、B、F

- ② ^{はなこ}花子さんは、夏休みの自由研究として「地球環境の変化と作物への^{えいきょう}影響」について調べることにした。情報を集めて、グラフにまとめようと思っている。^{はなこ}花子さんの自由研究の役に立つウェブサイトはどれか。

- 1 A、B、D
- 2 A、C、D
- 3 B、C、D
- 4 B、D、F

子ども向けの官公庁のウェブサイト

A	外交に関するさまざまな仕事内容を、キャラクターが会話を交えながら楽しくわかりやすく紹介。また、日本発の技術や商品、現在日本で流行しているアニメやゲーム、伝統文化等を紹介するコーナーも充実。
B	自然、人口、経済、貿易などさまざまな分野の豊富な統計データを見られるコーナーがあるほか、統計の種類、データの見方、グラフの表し方や作り方などを漫画やキャラクター同士の会話を通して学べるコーナーも充実。統計データや統計の歴史に関する問題にチャレンジできるクイズコーナー、統計用語を探し出すゲームも楽しめる。
C	日常食卓に並ぶ米や肉、魚、野菜が誰の手によってどのように作られ、食卓まで来るのかを易しく解説。米や野菜がどこで生まれ、どのように日本に伝わってきたかという歴史の紹介や、昔の人の知恵が詰まった農産物についてのことわざなども取り上げられている。
D	サイト上で、キャラクターと一緒に気象観測、空、火山、台風、津波、地球環境などの気象に関する学習ができるほか、ゲームコーナーではクイズやシューティングゲームも楽しめる。
E	税についての学習コーナーが設けられており、税に関係する内容をゲームやクイズ、動画等を通して楽しみながら学ぶことができる。市長になった気分自分たちが設定した予算で施設を建設し、町づくりが体験できるゲームもある。
F	コインの形をしたキャラクターが、貨幣の製造方法や日本の貨幣の歴史などについてわかりやすく解説してくれる。コインを使った手品も紹介。



もんだい
問題 1

38

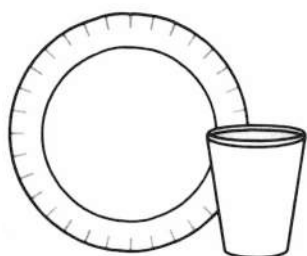
もんだい 問題 1 では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。



ばん
1 番

39



ア



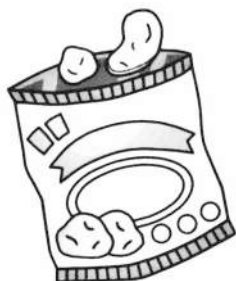
イ



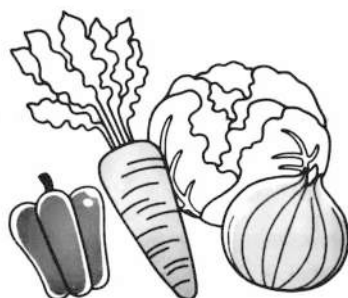
ウ



エ



オ



カ

1 ア イ エ

2 イ ウ エ

3 イ エ オ

4 エ オ カ



2番

- 1 ^{あか} 明るい ^{いろ} 色のショールをかける
- 2 ドレスの ^{なが} 長さを ^{なが} 長くする
- 3 ^{そで} 袖の ^{なが} 長さを ^{なが} 長くする
- 4 ^{くら} 暗い ^{いろ} 色のドレスにする



3番

- 1 1 ^{まんえん} 万円・パスポート・パンフレット
- 2 1 ^{まんえん} 万円・9 ^{まんえん} 万円・ ^{もうしこみしょ} 申込書
- 3 1 ^{まんえん} 万円・パンフレット・ ^{ふうとう} 封筒
- 4 1 ^{まんえん} 万円・パスポートのコピー・ ^{もうしこみしょ} 申込書



もんだい
問題 2

42

問題 2 では、まず質問を聞いてください。そのあと、問題用紙のせんたくしを読んでください。読む時間があります。それから話を聞いて、問題用紙の 1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。



43

ばん
1 番

- 1 田中君が来るまで待つ
- 2 林さんと3人で先に行く
- 3 二人で先に行く
- 4 あと5分待つ



44

ばん
2 番

- 1 軽くて持っていて疲れないバッグ
- 2 色やデザインが好みのバッグ
- 3 中身が整理しやすいバッグ
- 4 たくさん入るバッグ



45

ばん
3 番

- 1 月・火・水
- 2 月・火・水・木
- 3 月・火・水・木・金
- 4 火・水・木・金



46

もんだい 問題 3

問題 3 では、問題用紙に何もいんさつされていません。この問題は、全体としてどんな内容を聞く問題です。話の前に質問はありません。まず話を聞いてください。それから、質問とせんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。

—メモ—



50

もんだい

問題 4

問題 4 では、問題用紙に何もいんさつされていません。まず文を聞いてください。それから、それに対する返事を聞いて、1 から 3 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

※実際の試験では、問題の前に練習があります。

—メモ—



もんだい
問題 5

もんだい なが はなし き もんだい れんしゅう
問題 5 では長めの話を聞きます。この問題には練習はありません。メモをとってもか
まいません。

ばん
1 番

もんだいようし なに はなし き かつもん
問題用紙に何もいんさつされていません。まず話を聞いてください。それから、質問と
せんたくしを聞いて、1 から 4 の中から、最もよいものを一つ選んでください。

—メモ—



2 番

59

まず ^{はなし}話 ^きを聞いてください。それから、^{ふた}二つの^{しつもん}質問^きを聞いて、それぞれ^{もんだいようし}問題用紙の1から4の^{なか}中から、^{もっと}最も^{ひと}よいものを一つ^{えら}選んでください。



質問 1

60

- 1 ビール
- 2 ジュース
- 3 クッキー
- 4 ケーキ

質問 2

- 1 ビール
- 2 ジュース
- 3 クッキー
- 4 ケーキ

執筆者

NPO 法人日本語教育研究所

浅野陽子、伊藤麻友子、小山暁子、斉藤祐美、西上鈴江、前坊香菜子

インターカルト日本語学校

エール学園日本語教育学科

執筆協力者

文字・語彙：梅田康子

文法：刈谷仁美

読解：齋藤伸子

聴解：高橋優子

編集

凡人社編集部

短期マスター 日本語能力試験ドリル N2 第2版

2010年10月10日 初版第1刷 発行

2013年2月1日 第2版第1刷 発行

2018年7月20日 第2版第4刷 発行

編集・著作 凡人社編集部

発行 株式会社 凡人社

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-3-13

電話 03-3263-3959

表紙デザイン クリエイティブ・コンセプト

印刷・製本 倉敷印刷株式会社

©2010, 2013 Bonjinsha

落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

本書の一部、あるいは全部について、著作者から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても無断で転載・複写・複製することは法律で固く禁じられています。

